

令和8年度教育研究全体計画

1 研究テーマ

学ぶ楽しさを感じ、自律的に学ぶ児童の育成
—自ら考え選択し決定する学び・認め合い支え合える学習集団作りを通して—

2 現状及び主題設定の理由

本校は、昨年度から「学ぶ楽しさを感じ、自律的に学ぶ児童の育成」を目指し、自ら考え選択し決定する学びと認め合い支え合える学習集団づくりに取り組んできた。認め合い支え合える学習集団づくりでは、縦割り班活動や異学年・地域の方との交流を積極的に行ったり、「学校チャレンジ（ポジティブ行動支援）」に取り組んだりすることで、i-checkの結果から、親和性は高まりつつある。また、自ら考え選択し決定する学びでは、どの学年においても、研究授業時の取組は研究の4つの柱に沿った授業づくりができていた。そのため、児童の満足度も高く、成果指標も達成できていた。しかし、研究授業の取組が日常の授業改善につながっていないところが課題となっている。

そこで、研究テーマを「学ぶ楽しさを感じ、自律的に学ぶ児童の育成」とし、研究内容の日常化を図るとともに、4つの柱に関わる取組をより深化させ、自律的に学ぶ児童を育成したい。

3 研究の仮説

算数科において、次の4点に取り組めば、自律的に学ぶ児童を育成することができるであろう。

- ① 児童とともに単元計画表を作成
- ② 児童の自律的な学びを支える学習環境の設定
- ③ 自らの学びを振り返るためのR80の充実
- ④ 働かせたい数学的な見方・考え方を意識させる環境設定（幸崎トレジャーボックスの取組）

4 仮説の検証

検証の視点	検証の指標	達成目標
① 児童の学力は向上したか。	単元末テスト	平均 85 点以上
② 児童は自律的に学ぶことができていたか。	自律的な学びについての児童アンケート (4、9、12月)	肯定的評価 80%以上
③ 認め合い支え合える学習集団づくりはできていたか。	i-check 散布図 I (個人の心の安全) (6、12月)	A・B 領域の児童 80%以上
	学習集団づくりについての児童アンケート (4、9、12月)	肯定的評価 80%以上

【自律的な学びについての児童アンケート】

設 問	回 答
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	1・2・3・4
自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	1・2・3・4
各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	1・2・3・4
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	1・2・3・4
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	1・2・3・4

【学習集団づくりについての児童アンケート】

設 問	回 答
学校に行くのは楽しいと思いますか	1・2・3・4
友達関係に満足していますか	1・2・3・4
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	1・2・3・4

5 研究推進の柱

(1) 児童とともに単元計画表を作成

単元の始めに、児童とともに単元計画表を作成する。そうすることで、教師は単元を意識した教材研究を行うことができる。また、児童は単元において、どのような内容を何時間で学ぶことを知ることができ、見通しをもって学習に臨むことができる。そのため、授業の導入にかかる時間が短縮される良さもある。

(2) 児童の自律的な学びを支える学習環境の設定

児童が課題を解決するための手段として、教師が様々な学習環境を準備しておく。そうすることで、児童が自分に合ったものを選ぶ力や、自分で決めたことを最後まであきらめずに挑戦する力を身に付けることができると思う。

(3) 自らの学びを振り返るための R80 の取組

学習の振り返りにおいて、その時間の学びを 80 字で振り返る。学習内容について振り返る場合もあれば、学習方法を振り返る場合もある。児童は振り返りを通して、何が分かり、次にどのような学びを進めていきたいのかを自分自身で把握することができ、次の時間への意欲につなげることができる。

(4) 働かせたい数学的な見方・考え方を意識させる環境設定 (幸崎小トレジャーボックスの取組)

働かせたい数学的な見方・考え方を明示的に示し、意識的に活用するように促す。具体的には、教室前方の黒板に短冊にして掲示する (幸崎トレジャーボックス)。児童は、幸崎トレジャーボックスを意識して活用する中で、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりできる。

この4つの柱に関わる取組を日常の授業改善につなげるため、継続的に研修を取り入れる。研修では、実際に単元計画表を作成したり、児童の書いた R80 を交流し、児童の見本となる掲示物を作成したりしながら、取組を深化させていく。詳細の研修計画は以下に示す。

6 年間スケジュール

期 日	教科・領域等	研 修 内 容	指 導 者
4月 7日(火)		今年度の研究について 単元計画表の作成	
4月10日(金)		幸崎トレジャーボックスにつ いて	
4月27日(月)	算数科	算数科研究授業 5年 齋藤 美穂	
5月 7日(木)		R80 ノート交流	
5月27日(水)	算数科	小中合同研修会①	泰山 裕 先生
6月11日(木)		R80 ノート交流	
6月17日(水)	算数科	小中合同研修会②	泰山 裕 先生
6月18日(木)	算数科	算数科研究授業 4年 山元 成仁	三原市教委指導主事
6月27日(土)	算数科		文部科学省教科調査 官 加固 希支男 先生
7月 2日(木)		R80 ノート交流	
7月末		1人1研修	
8月 4日(火)	算数科	ブロック公開研に向けて① 教材研究等	
9月 3日(木)		単元計画表の作成	
9月10日(木)		幸崎トレジャーボックスにつ いて	
10月 1日(木)		R80 ノート交流	
10月15日(木)	算数科	ブロック公開研に向けて② 事前準備等	
10月21日(水)	算数科	ブロック公開研 1年 古本 美穂 2年 浜田 颯介 3年 住本 和己 4年 山元 成仁 5年 齋藤 美穂 6年 杉本 美雪 わかくさ1組 安田 尚史 わかくさ2組 平田 理紗	泰山 裕 先生 三原市教委指導主事
10月29日(木)	道徳	道徳参観日に向けて 模擬授業等 (ブロックごと)	

11月 5日(木)		R80 ノート交流	
12月 3日(木)	算数科	算数科研究授業 2年 浜田 颯介	三原市教委指導主事
12月 7日(月)		R80 ノート交流	
1月 28日(木)	算数科 特別支援教育	研究授業 わかくさ2組 平田 理紗	三原市教委指導主事
2月 4日(木)		R80 ノート交流	
3月 4日(木)		R80 ノート交流	
3月 11日(木)		まとめ・次年度に向けて	